

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果
1	再生可能エネルギー普及推進事業	新産業推進課	1,154,624円	1,100,000円	公共施設への再生可能エネルギー設備の導入を進めるとともに、「西海発」の再エネ技術開発に取り組むことで、地域主導の脱炭素化を推進する。また、民間による再エネ開発においては、無秩序な開発を防ぎつつ、地域振興につながる調和的な誘導を図り、環境保全と産業振興の両立を目指すことを目的とする。	北海道苫小牧のCCS実証試験センターおよびGENESIS松島計画に関連する先進事例を視察し、CCS事業法の制度整備や地域との調整支援に関して国との協議・要望を実施。また、令和6年度からは全国洋上風力発電市町村連絡協議会に新たに参加し、全国の先進自治体との連携体制を強化。今後の制度整備や国への要望活動に向けた体制基盤を構築した。	先進事例の視察や国との協議により、再エネの導入や技術開発に向けた知見と制度整備の基盤を強化するとともに、全国の先進自治体との連携体制を構築した。これにより、西海市における環境保全と産業振興の両立に向けた持続的な再エネの推進が期待される。
2	地域脱炭素・再生可能エネルギー推進事業	新産業推進課	1,339,885円	900,000円	ゼロカーボンシティの実現に向けて、脱炭素と防災を融合させたモデル地域づくりを推進。市庁舎への太陽光発電・蓄電池・EV導入により災害時の電力確保を図るとともに、市民・企業・行政が一体となったCO ₂ 削減の取組と再エネ普及、脱炭素型新産業の創出を通じて、持続可能な地域振興を目指す。	ゼロカーボンシティの実現と防災機能強化に向けたモデル地域づくりの一環として、市庁舎に導入したEV用急速充電器の運用を開始し、その電気料およびサーバ利用料の支払いを行うとともに、再生可能エネルギー設備の保守管理業務を委託し、導入設備の安定運用と再エネ活用の継続を図った。	再生可能エネルギー設備やEV用急速充電器の安定運用により、災害時の電力確保と平時の再エネ活用を両立。脱炭素と防災を融合したモデルづくりの実践により、市民や企業の意識醸成と地域全体でのCO ₂ 削減の取組が促進され、持続可能なまちづくりの基盤強化が期待される。
3	旧七ツ釜観光ホテル等施設解体事業	ふるさと資源推進課	32,287,200円	30,000,000円	地元住民から、旧西海楽園跡地へ芝生公園の設置を要望されており、西海市として芝生公園を設置し地元住民及び観光客等の憩いの場を創出する。その準備として、七ツ釜観光ホテル等劣化した建築物を解体する。	シロアリ被害の危険性が大きい木造及び景観を害している入口付近の建物を中心に解体を実施し、付随する貯水槽なども併せて解体した。	旧西海楽園跡地の劣化した木造建物を解体したことで、景観が向上した。今後も地元要望に応えるべく、解体の実施を進めたい。
4	総合支所管内 地域対策支援事業	総合支所	24,045,824円	17,000,000円	各総合支所管内の市道や農道及び公共施設等の良好な環境整備に努めるもの	各総合支所に2名の地域支援員をそれぞれ配置し、市道や公共施設等の除草作業や小規模な道路補修等の維持管理を行っている。 【配置状況】4総合支所×2名（年間約180日作業従事） 【主な作業】除草、支障木伐採、道路補修、側溝清掃、カーブミラー清掃、樹木剪定など	・通学路の安全確保や交通事故防止に繋がる。 ・軽微な作業については、市民からの通報に対しスピーディーに対応が図られる。
5	新たな就農者支援事業	農林緑推進課	15,032,000円	14,900,000円	自立を目指す就農希望者への支援を図りながら、地域農業の中心となる担い手の育成と確保を目指す。	就農生活支援 就農して初期の生活費を支援するもの 新規参入者 50歳以上61歳未満 120万×3年間 親元就農者 40歳未満1年目60万、2・3年目30万 50歳未満60万×1年間、 50歳以上61歳未満30万×1年間 施設等整備支援 就農前後の初期の農業施設等の経費の一部支援 1/2以内 補助下限額20万、上限400万（1回限り）  	生活支援により就農初期の不安定経営による離農を防げることが出来、地域農業の中心となる担い手の育成と確保が図られた。また施設等整備支援により農機具などを整備し、効率的で省力化が見込める管理作業が可能となった。また収集出荷倉庫を整備することで、収集出荷体制が整い、増産が可能となり今後の所得向上が見込まれた。
6	荒廃農地再生事業	農林緑推進課	150,000円	100,000円	荒廃農地に分類された農地を耕作ができる状態へ再生するために、再生にかかる一部費用を助成する。	荒廃農地を再生し、耕作可能な状態にした。 （補助対象） 荒廃農地の再生にかかった事業費 （補助金の交付額） 上限30aまで 認定農業者または認定新規就農者 50,000円/10a （R6年度の実績） 30a×50,000円/10a＝150,000円  	耕作放棄地を解消したことにより、耕作ができる状態へ再生し、景観の保全につながった。
7	農地等整備工事費補助金	農林緑推進課	4,678,000円	3,000,000円	農家を実施する国県補助事業の要件に該当しないほ場整備等の整備工事に対して事業の一部を助成する	〈補助対象〉 ほ場整備、農業用ため池、農道、用排水路の整備及び補修に要する経費 〈補助率〉 50％以内：農業用ため池、農道、用排水路 60％以内：ほ場整備（一般タイプ）※担い手育成タイプに限り ただし、直営で行う場合は、機械借上料、燃料費、回送費を対象経費とし、70％以内 〈補助限度額〉 100万円  	農地及び農道・用排水路などの新設、復旧への助成を行うことにより、土地改良施設の機能を適正に発揮させるための集落活動の強化が期待される。
8	農道路肩維持補修事業	農林緑推進課	4,666,200円	4,600,000円	西海市が管理する農道において、路肩に雑草が繁茂し、通行車両の支障となっているため、防草工を実施し、施設の保全と通行車両の安全を図る。	西彼杵広域農道路肩補修工事（防草工） 防草コンクリート W=1.0m A=475.0㎡ 残土処理工 V=34.0㎡  	西彼杵広域農道路肩に防草コンクリートを敷設することで、雑草の繁茂を抑制することができた。

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果
9	花いっぱい推進事業	ふるさと資源推進課	2,629,932円	2,500,000円	市内の沿道に設置しているプランターや老人クラブが管理する花壇に花を植栽し、市内の景観美化を図る。	春と秋の年に2回、花苗を購入し、プランター管理者と老人クラブに提供。その後、プランター管理者、老人クラブがプランターと花壇に植栽を行っている。 	沿道が美しく保たれ、景観美化につながっている。またプランター管理者のボランティア活動や老人クラブ活動の活性化につもつながっている。
10	大島黒瀬菖蒲園管理事業	ふるさと資源推進課	330,000円	300,000円	大島黒瀬菖蒲園の景観維持を図るもの。	維持管理のため、通年の花壇管理及び除草作業を委託した。	訪れる人に気持ちよく散策してもらうため、地区公園の景観が維持された。
11	道路パトロール強化事業	建設課	6,025,000円	5,000,000円	年間を通じ道路パトロールを行い道路の異状発見に努め、簡易な舗装修繕や倒木処理、除草作業等を行い、未然に事故防止を図り、適切な道路維持管理を行う。	市道パトロールに関する作業員及びパトロール車の管理費 路 線 数 :1277路線 実施路線数 :378路線 年間実施日数:104日 	パトロールにより発見された倒木やポットホール（舗装の窪み）等を早期に対応・補修することにより、安全な車両の通行が出来るよう努めた。
12	市民参加の美しいまちづくり事業	建設課	1,077,000円	600,000円	水と自然にあふれ、住民に憩いとうるおいを与える河川や海岸及び大多数の人々の眺望の舞台となる道路について、これらが市民の共有財産であるという認識のもとで、美しい海や緑豊かな自然環境を大切にするまちづくりに取り組む団体（愛護団体）に対し、活動の支援を行う。	活動に係る清掃用品等の支給 愛護団体登録数:45団体 実施団体数 :13団体 実 施 数:24回 	自治会や企業等の団体により、市道及び市管理の河川・海岸等の清掃・美化活動に取組むことが出来た。 また、年間4回の活動を実施する団体もあります。
13	市道路肩維持補修事業	建設課	9,067,300円	9,000,000円	市道において、路肩及び土羽をコンクリートで保護することで崩落防止、除草作業の労力軽減並びに利用者の通行安全を図る。	実施箇所:西海市西海町 3路線(市道寄船池の原線、市道水浦高地線、市道小郡線) 工事長 L=1050.7m、防草コンクリート t=7.0cm 	路肩を補修することで、路肩部の崩落防止、除草作業の労力軽減並びに道路利用者の通行の安全を確保することができた。
14	総合支所管内 道路橋梁維持費	総合支所	7,691,400円	6,500,000円	各総合支所管内の市道の通行安全の確保及び周辺環境の保全に寄与する。	市道の路肩、法面等の除草作業を行った自治会その他の団体に対して西海市市道除草作業報償金を交付した。 報償金は、除草作業の内容に応じ、1km当たり9,000円を上限（自治会等ごとに同一年度2回を限度）として支給。 実施自治会数:延べ99自治会 実施総延長:854.6キロメートル	西彼地区:延べ34自治会 西海地区:延べ33自治会 大島地区:延べ20自治会 崎戸地区:延べ12自治会
15	危険空き建築物除却支援事業	住宅建築課	3,469,000円	3,400,000円	適正な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、周囲に影響を及ぼす恐れのある空き建築物の除却を支援し、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全を図る。	周囲に影響を及ぼす恐れのある空き建築物の除却を支援する。 上限30万円/件	空き建築物の除却を支援し解体を促進することで、防災、衛生、景観等の生活環境の保全に寄与することが出来た。 合計:12件
16	崎戸さんさん元氣らんど管理事業	ふるさと資源推進課	6,820,000円	6,000,000円	公の施設の管理運営に、民間の能力を活用し市民サービスの向上、行政経費の削減を図るため指定管理者制度を導入する。	年間を通じ、公園の維持管理に努め、芝生広場でのイベントやおもしろ自転車を活用し利用客のおもてなしを実施した。	指定管理者の管理により、年間を通じ公園内が美しく保たれ、利用者の満足度向上に努めることができた。
17	街路灯維持管理費	ふるさと資源推進課	3,816,639円	3,000,000円	市内沿道の景観街路灯の維持管理を図る。	年間の電気代の支出のほか、故障対応、また経年による塗装剥離が生じていたため設備の長寿命化を図るため塗装修繕を実施した。	沿道の明かりが保たれ、景観保全につながっている。

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果
18	農林漁業体験民宿推進事業	ふるさと資源推進課	5,048,200円	5,000,000円	西海市のグリーン・ツーリズム推進による観光振興を図るため、農林漁業体験民宿の登録拡充及び国内大都市圏又はインバウンドの誘客開拓を進めるための基礎体制を整備する。	農林漁業体験民宿の登録に要する必要設備の購入費を一部補助。 受入れにあたり必要な設備（消火器、火災警報器等）を設置する場合のみ対象。補助額は、当該経費又は25,000円のいずれか低い額。 農林漁業体験民宿の登録に要する申請手数料22,000円の1/2補助。 農林漁業体験民宿の推進を行う組織への運営補助。	令和6年度は4件の新規登録宿実績あり。 市の交流人口増加につながっており、今後も継続して誘客開拓及び地域活性化を図る。
19	宿泊施設改修補助事業	ふるさと資源推進課	1,084,000円	1,000,000円	宿泊客の利便性及び快適性を向上させるため、宿泊施設の改修を行う宿泊事業者に対し、補助を行い、宿泊客の増加を目的とし、地域経済の活性化を図る。	客室・施設内の共用部分おける改修工事の補助を行う。 ・宿泊業者 補助対象経費の1/2以内の額 ・農泊業者 補助対象経費の1/3以内の額 補助上限額は100万円	令和6年度は3件の改修補助を行い、宿泊客の満足度向上を図った。
20	こども医療費助成事業（市単独・県補助分）	こども家庭課	44,170,129円	11,390,000円	少子化・人口減少対策として小・中・高校生の医療費を助成することにより、子育て世帯の負担軽減を図り、子育てしやすい環境を整える。	（助成事業対象者） 西海市に住所を有する受給者。 小学1年生から満18歳に達する日以後の最初の3月31日まで。 （支給内容） 一月につき、同一医療機関ごとに一部負担金800円/日（1,600円/月）を控除した額。外来薬剤は、全額助成。 令和5年度から長崎市及び佐世保市の医療機関等を受診した場合は現物給付で対応する。	令和2年4月より対象を高校生までに拡大。医療費の一部を負担することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。 令和4年4月診療分から、西海市、時津町、長与町の医療機関において、高校生まで現物給付方式を導入したことで、子育て世帯の利便性が向上した。 令和5年4月診療分からは、長崎市（高校生まで）、佐世保市（中学生まで）の医療機関において、現物給付方式を導入するなど制度を拡充しており、今後も制度の周知を図り、引き続き事業を実施する
21	障害者配食サービス事業	福祉課	2,639,815円	2,500,000円	身体、療育、精神障害者保健福祉手帳のいずれか所持している18歳以上65歳未満の調理が困難な障がい者であって、単身若しくは障がい者のみの世帯またはこれに準ずる世帯の方に1日当たり1食（1食あたり825円、うち自己負担410円、市負担415円）を限度として、食事提供（健康維持）を行うとともに安否確認を行う。事業は西海市社会福祉協議会へ委託	【利用者実人数】 254人 【提供食数】 6,361食	単なる食事の提供のみでなく、独居の障がい者や障がい者のみの世帯の安否確認等を兼ねており事業継続の必要性は高い。
22	児童発達支援館管理事業	福祉課	9,064,000円	3,000,000円	障がい児及びその家族の福祉の増進を図るため必要な支援サービスを提供するため、令和3年度に開所した大島児童発達支援館について、指定管理者の指定を受けた法人へ指定管理料を支払い、障害児通所支援事業及び施設の管理を行わせる。 令和6年度から令和10年度までの5年間の指定管理者は、社会福祉法人三恵会。	【登録者数】 35人 【利用延べ数】 934人 【1日平均利用者数】 3.8人 【年間開所日数】 244日	令和6年度より指定管理者制度での運用となり、事業所独自で持つノウハウを生かし、事業の組み立てができるようになった。「お遊び広場」の実施により、子育ての中で「困り感」を感じ、児童発達支援事業や医療保険における小児リハにつながれない。児童及びその保護者に対して1時間半のお遊びを通して、保護者の困り感の確認及び困り感の背景になる家庭課題（貧困・家庭内不和・子育ての困難さ・両親の疾患等）を把握し助言等を行い、保護者の不安感の軽減を図っている。何らかの支援が必要な子どもの割合は未だ増えている状況のため、今後も継続した事業の実施が必要である。
23	敬老事業費	長寿介護課	10,323,171円	2,000,000円	西海市に住所を有する高齢者に対し、西海市敬老祝金を支給することにより、敬老の意を表し、その長寿を祝福し、あわせて老人福祉の向上に寄与することを目的とする。	年齢満77歳の高齢者へ10,000円、年齢満88歳の高齢者へ20,000円、年齢満100歳の高齢者へ100,000円を西海市敬老祝金として支給する。	高齢者に対する敬老の意を表し、その長寿を祝福することができる。
24	老人クラブ事業	長寿介護課	6,536,932円	3,007,000円	高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを推進し、老人福祉の向上に寄与するため、西海市老人クラブ連合会に対し、西海市老人クラブ連合会補助金を交付する	老人クラブに対する補助、老人クラブ連合会の活動促進に対する補助、老人うクラブ連合会が行う健康づくり事業に対する補助を行う。	老人クラブの活動に参加することにより、生きがいづくりや社会参加の促進、健康増進につながっている。
25	外出支援サービス事業	長寿介護課	552,400円	500,000円	一般の交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移動用車両を利用した移送サービスを行うことにより、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、もって在宅福祉の推進を図ることを目的とする。	居宅から在宅福祉サービスを提供する場所又は医療機関等までの間の送迎について移動用車両を用いて支援を行うものとする。	一般車両での移動が困難であっても外出支援サービスを利用することにより通院等が可能となり、在宅での生活を持続することができる。

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果
26	介護人材確保対策事業	長寿介護課	230,307円	230,000円	西海市第9期介護保険事業計画に基づく介護人材確保対策として、介護に従事する人材の確保及び定着を図り、もって介護サービスの質の向上に資するため介護職員初任者研修又は介護福祉士実務者研修等の受講に要する費用について助成する。	研修等の受講料及び研修において使用される教材の購入費用並びに離島居住者の渡航費用及び江島・平島居住者の宿泊費用のうち、事業所が助成した費用につき市より事業所に対し助成する。	事業所より各種研修費用の助成の要望は多く、今後も事業を継続していくことで介護人材の質の向上と処遇の改善を図っていく。
27	シニアカー購入費補助金（長寿介護課）	長寿介護課	2,327,000円	2,000,000円	高齢者又は障がい者の外出を容易にし、高齢者等の社会参加や健康増進を支援する。	・65歳以上で運転免許証を自主返納、又は保有していない者 ・要介護者と認定されている者 ・下肢に障がいの有する者 上記に当てはまる者に対し、シニアカー購入に要する2分の1以内とし、15万円を限度とし、補助金を交付する。	シニアカーの購入費の一部を補助し、介護予防ひいては介護給付費の抑制に寄与する。また、運転免許証の自主返納の増加につながる。
28	旧オランダ村Cゾーン建物解体事業	ふるさと資源推進課	12,700,000円	9,660,000円	旧長崎オランダ村Cゾーン建物等に関し、老朽化が進行し倒壊及び海面への流出の恐れがあるため、解体するもの。	建物解体を行うため、デッキ付近への仮設道設置及びウッドデッキの一部撤去工事を行い、コンクリート打設を先行して実施した。	ウッドデッキ付近までの仮設道路の設置し、ウッドデッキの一部を撤去し、コンクリート打設を実施したことで解体足場を確保したことで、今後の建物解体が円滑に実施できる。
29	しまの暮らし支援事業	島の暮らし支援室	721,076円	700,000円	市内の有人離島の振興のための活動として、主に旅費、需用費、船舶の借上料に使用	・江島、平島、松島に渡り、島の暮らしを支援する事業に対して、島民との事業調整や意見交換を行った。 ・国への要望活動の他、全国離島振興協議会の事業に参加し有人離島を有する自治体と意見交換を行った。	・島民の意見や現況を確認することができ、事業を円滑に進めることができた。 ・他自治体との意見交換や国、県に対して要望活動をおこない、今後の事業の推進を図った。
30	しまの生活物資輸送費補助金	島の暮らし支援室	1,067,305円	900,000円	市内有人離島（江島、平島、松島）に立地する食料品、生活雑貨を販売している商店の商品仕入れの際の輸送費を補助する。	各商店の仕入れにかかる輸送費に対して補助をおこなった。 江島：高瀬商店 359,441円 平島：中村商店 183,645円 平島：本多商店 449,109円 松島：内山商店 449,109円	各商店の輸送費を補助することで、離島に立地する商店を存続させることができた。
31	しまの魅力発信支援事業	島の暮らし支援室	446,895円	200,000円	松島、江島、平島において、市外で実施されるイベント等で市内有人離島の魅力を情報発信するための活動に対し補助をおこない、島の魅力を発信することにより、離島振興として来島を促し活性化を図ることを目的とするもの。 市内有人離島の魅力を発信するため、広報事業等に参加する活動経費について補助を行う	「アイランダー2024」イベントへの参加 東京での実売イベントに参加し、イベント会場ブースにて、麦みそ。、鉄火みそ、はちみつ等の販売、松島のPR活動を行った。	イベント販売ブースにて松島の農産物加工品を24万円販売することができ、松島のPRをすることができた。
32	江島デイサービスセンター管理事業	長寿介護課	3,960,000円	1,500,000円	江島デイサービスセンターにおいて、身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある者を対象に、入浴や排せつ、食事等の介護、機能訓練を行う。	デイサービスセンターで実施する事業、施設の維持管理については、指定管理者が行っている。	介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する。
33	デイサービスセンターつばき苑管理事業	長寿介護課	6,660,000円	1,500,000円	デイサービスセンターつばき苑において、身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある者を対象に、入浴や排せつ、食事等の介護、機能訓練を行う。	デイサービスセンターで実施する事業、施設の維持管理については、指定管理者が行っている。	介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する。
34	平島デイサービスセンター管理事業	長寿介護課	3,628,000円	1,500,000円	平島デイサービスセンターにおいて、身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある者を対象に、入浴や排せつ、食事等の介護、機能訓練を行う。	デイサービスセンターで実施する事業、施設の維持管理については、指定管理者が行っている。	介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する。

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果	
35	市政施行20周年記念式典	政策企画課	2,668,749円	2,000,000円	市制施行20周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進めるとともに、より一層の市政発展の契機とすることを目的に記念式典を開催した。	開催日時：令和7年2月8日（土）10:30 場所：大島文化ホール 出席者：県、国会議員、市民ら約300名 表彰：個人14人、1団体、1社 感謝状：北海道広尾町、宮崎県西都市、関東西海市会、西海市関西会 20周年記念ロゴマーク表彰：3人 西海市20年の歩みスライドショーの作成、放映 20周年記念音楽祭の開催：音楽プロデューサー中村明夫氏 出演者：さいかいウインドオーケストラ 西海市ブランド大使 大地あきお氏		市制施行20周年記念式典を開催することにより、市民とともに市の歴史と成長を振り返り、一体感を深める貴重な機会となった。約300名の出席者が集まり、個人や団体への表彰を通じて地域への貢献が称えられ、北海道広尾町や宮崎県西都市などとの交流を通じて、地域間の連携が強化された。さらに、20周年記念音楽祭では、西海市に縁のあるメンバーで構成された「さいかいウインドオーケストラ」や西海市ブランド大使の大地あきお氏の演奏が市民を魅了し、文化的な絆も深められた。これらの取り組みを通じて、市の一体感がさらに醸成され、市政のさらなる発展が期待される。
36	在宅診療設備整備補助事業	包括支援課	4,059,000円	1,167,000円	訪問診療を実施する医療機関を支援し通院継続が困難な患者等への訪問診療・往診の充実を図る。	訪問診療に必要な医療機器購入費用の支援 3,500,000円（補助基準上限額）× 2/3（補助率）＝2,333,000円	可搬型X線装置を用いた骨折や肺炎等の早期診断や治療、可搬型超音波診断装置を用いた胸水や腹水、関節水腫等の早期発見や治療が図られるため、訪問診療・往診の充実が期待できる。	
37	訪問看護事業所開設・拡充補助事業	包括支援課	3,098,880円	1,400,000円	市内の訪問看護事業所へ事業拡充費用の支援を行い医療需要が高まっている地域の在宅医療サービス充実を図る。	事業拡充費用の支援 3,000,000円（補助基準上限額）× 1/2（補助率）＝1,500,000円	医療需要が高まっている崎戸町本土地域をはじめとした西海・大崎地域の在宅医療サービスの更なる充実が期待できる。	
38	新たにチャレンジ水産経営応援事業	里海推進課	1,069,000円	1,000,000円	県の経営指導を受け策定した経営改善計画の目標達成に必要な施設整備に対して支援するとともに、漁業就業者の離職防止の一助として、意欲ある漁業者が取り組む推進機関整備や漁業操業設備の整備に対して支援することにより漁業経営の安定を図る。	経営計画や生産性向上計画を策定した漁業者、及び資源管理対策に取組む漁業者が行う漁船推進機関整備や漁業操業設備の整備等に要する経費を支援する。	省燃油化を目的とした船外機の交換や、操業に必要な機器の整備にかかる費用を支援を行った。 推進機関や操業設備の整備を通じて、安全な航行と効率的な操業が期待され、漁業経営の安定に寄与することが見込まれる。	
39	水産資源増殖事業	里海推進課	1,658,000円	1,600,000円	市内主要魚種の資源管理対策とあわせ産卵場造成、種苗の放流に取組み、資源増産により漁獲量を増加させることで、漁業所得の向上による漁業経営の安定を図る。	市内漁協が行う産卵場造成、種苗放流に要する経費を支援する。	マダコ、イカの産卵場造成、カサゴ、ナマコの種苗放流に要する経費の支援を行った。 資源の増産や漁獲量の増加が見込まれ、漁業所得の向上による漁業経営の安定が期待される。	
40	漁獲物運搬連携支援事業	里海推進課	409,000円	400,000円	市内漁協の連携に向け策定した「浜の活力再生広域プラン」による漁獲物の共同出荷の強化に向け、漁業者のニーズに応じた出荷体制を構築することで、出荷機会の増大による漁業所得の向上を図る。	市内漁協が連携して行う漁獲物の共同出荷に要する経費を支援する。	漁獲物の共同出荷の取組みに対して、魚市場へ出荷するための集荷、出荷経費の支援を行った。 漁業者の操業形態に応じた出荷ができたことで出荷機会は増え、出荷経費軽減により操業コストも削減されたことで、漁業所得の向上が期待される。	
41	中小企業経営強化支援事業	ふるさと資源推進課	2,807,000円	2,800,000円	市内事業者の設備投資に対する補助を講じることにより、業務の効率化や生産性の向上、店舗の魅力向上などにつなげ、事業者の経営力強化を目的とするもの。	7件の事業者に対する助補助を実施。 冷凍ショーケースを導入した陳列スペース増加による販売力向上や工場内照明器具LED更新による生産性向上などの事業が行われた。	補助対象それぞれ経営強化策に基づき事業が実施されており、一定の効果はみられる。以降3年間の事業状況報告により成果の展望に注視する。	
42	インターンシップ促進補助事業	ふるさと資源推進課	2,027,000円	2,000,000円	都市部の大学と包括連携協定を結び、学生のインターンシップ受入促進のために旅費等を補助し、関係人口や将来的な生産年齢人口の増加を図るもの。 また、これまで包括連携協定を締結している関西圏の大学のみを受入としていたが、近隣大学へも対象を広げたプログラムを策定することで、市内への就職を図るもの。	①「キャリアデザインCocoLabo」コーチ&コーディネーター 長尾麻衣子氏と委託契約を締結。 「まちづくり」を通した企業の魅力発信を考えるテーマとして、1社あたり1日間のプログラムを複数日組み合わせた合同インターンシップを策定。 ②学生を2週間にわたり事業所へ派遣し、現場での作業を通じて地域の課題についての気づきや意見をフィードバックする取り組み。	次年度に向けた体制を整えるとともに、学生にとって地域課題への関心を深める機会となった。	
43	特産品ブランド強化対策事業	ふるさと資源推進課	26,718,725円	7,400,000円	「西海ブランド戦略」に基づき、西海ブランドの構築を進め、生産者・サービス提供者の所得向上を目指す。	○阪急梅田駅にて「ぎゅぎゅっと！西海フェア」の開催 ・西海ブランド戦略商品を始めた市内製品の販売及びPR活動等を実施 ・食品関連企業の訪問による販路開拓商談		フェアや商談会を通じて認知度と売上の向上が見られ、市産品への関心拡大に繋がった。あわせて、衛生管理体制や今後の販路展開に向けた取り組みも進展した。

ふるさと西海応援寄附金充当事業一覧（令和6年度）

通し番号	事業名	担当課	事業費	充当額	事業目的	実施内容	事業の成果や期待される効果
44	「住んでよし・訪れてよし」のまちづくり応援事業	ふるさと資源推進課	8,573,000円	2,800,000円	観光客や観光事業者だけでなく、その地に住む全ての人々にとって理想の観光まちづくりを行うための事業計画について、ソフト、ハードの両面から実現するための補助を行うもの。	【事業費支援（補助）】 補助率：事業費の3/4 【実施主体による事業実施内容】 キッチンカーの導入/地域内イベントの実施/体験観光モニターツアーの実施/E-バイク周遊ルートの設定/SUPインストラクターの育成	地域内イベントやモニターツアーの実施により、交流人口の拡大が図られた。また、キッチンカーの導入により、地域外イベントへの出展も可能となったことから、外向けに地域情報の広報活動が可能となった。人材育成やコース設定等徐々に観光客誘致体制も整いだしたことから、今後のプロモーションとあわせた誘客を図ることとした。
45	観光施設遊具新設事業	ふるさと資源推進課	594,000円	500,000円	本市の誘客ターゲットである家族等の小グループを中心に、安心して遊べる遊具整備を行い、本市の観光施設における満足度向上と、リピーター確保のため、利用率が高い西海市崎戸さんさん元氣らんどのおもしろ自転車を増台することで、本市における観光客増加を図る。	公募型プロポーザルを実施し、おもしろ自転車を2台購入した。納品後は崎戸さんさん元氣らんどで供用した。 	おもしろ自転車の充実化を図ったことで、新規利用者の確保や公園利用者の満足度向上に資することができた。
46	市内高等学校魅力向上支援事業	教育総務課	22,151,671円	11,500,000円	市内中学校から市内高等学校への進学率を向上させ若年層の市外流出抑制を図る。	○市内高等学校魅力向上補助金 1. 魅力ある学校づくり支援事業補助金3,127,475円 うち、魅力ある学校づくり支援事業分1,759,625円 うち、進学及び就職支援事業分1,367,850円 2. 市内高等学校入学支援事業補助金6,350,000円 西彼農業高等学校55名分 大崎高等学校35名分 西彼杵高等学校37名分 3. 市内高等学校大学進学応援事業補助金2,136,140円 【再掲】高等学校別交付実績（4事業計） 西彼農業高等学校5,023,765円 大崎高等学校3,388,320円 西彼杵高等学校3,201,530円 	魅力向上補助金の交付によって、各校の特色ある活動に対する支援や、保護者の負担軽減を図ることができた。また、スポーツ専門指導員の配置により、当該高校の知名度が上昇したこともあいまって、減少傾向にあった入学者数は、市内3校全体として過去3か年で横ばいから若干の上振れを見ることができた。
47	学力向上支援事業	学校教育課	15,162,474円	15,100,000円	わかる、魅力ある、達成感のある授業づくりが、児童生徒の学力を向上させる最も有効な手立てである。学力向上スーパーバイザーが、本市の児童生徒に合った指導方法等を教員に指導するとともに、有識者等を招いた講演会や研修会等を実施することにより、教員のわかる、魅力ある、達成感のある授業づくりの基盤となる授業力を高めることで、児童生徒の学力向上を図る。	・学力向上スーパーバイザーを配置（小学校2名、中学校1名）し、一人一人の教員に対して、西海市の児童生徒に合った指導方法等の指導を行う。 ・大学教授等の有識者や県教育センター指導主事等を招いて講演会や研修会を開く。 ・英語検定（中学2～3年）を行える環境を整える。 ・放課後オンライン学習会を開催する。 ・メタバースを活用した新しい学びの場を創出する。	教職員の授業力向上に伴う、児童・生徒の学力向上
48	ふるさと西海応援寄附金事業（ウクライナ支援寄附金）	ふるさと資源推進課	1,350,000円	1,350,000円	ウクライナでの紛争では民間人を含めた犠牲者や国外への避難を余儀なくされるなど、多くの人々が深刻な人道的危機に直面している状況であることから、ふるさと納税を通じて人道支援のための寄附を募る。	受付期間：令和4年5月16日～令和5年11月27日 寄附金額：1口1,000円 寄附実績：令和4年度 748件/748,000円 令和5年度 602件/602,000円 合計：1,350件/1,350,000円	ウクライナに緊急支援を行っている特定非営利活動法人 国連UNHCR協会に寄附することで、シェルター支援、救援物資の提供、現金給付支援、難民の保護・支援に活用される。